


7月の参加団体パビリオン&イベント概要

■土の力・発見館

ホスト団体名	財団法人 オイスカ				
海外パートナー	オイスカ・タイ総局（タイ）				
パビリオン内容	<p>【土を意識する生活の提案】</p> <p>田んぼやミニトマト菜園、500本のマンゴローブなど、緑あふれる空間で「土の力」を実感していただきます。田んぼに生息する生物を観察したり、“肥えた土”と“やせた土”を実際に触ってみたりといった体験プログラムを展開するほか、タイ、ミャンマー、バングラデシュなど、アジア太平洋地域の若き農村リーダーたちが「土から離れない生活」の大切さを日本語で伝えます。</p>		 <p style="text-align: center;">パビリオン内イメージ</p>		
団体概要	農業技術指導を通して人材を育成し、アジアの村づくりを進めています。				
取材問合せ先	080-5168-6553	担当者	林久美子	URL	http://oisca.org/

<主なイベント>

◆紙芝居「モアイ像の涙～巨大紙芝居～」

日時：7月6日(水)、11日(月)～14日(木)、19日(火) ①11:50～12:10、②14:20～14:50／8日(金)～10日(日)、18日(月・祝) 14:20～14:50／21日(木) 12:50～13:10／28日(木) 15:50～16:10

会場：大地の広場

内容：便利な生活に慣れたことで“何か”を見失っている私たちに、安城市在住の画家 船木明美氏による、たたみ2畳分の大きな紙芝居に描かれたやさしく迫力あるモアイが、忘れかけている大切な“何か”を伝えます。

◆ワークショップ「生命の誕生～みんなの力で育てよう～」

日時：7月16日(土)、30日(土) ①11:10～13:00、②15:10～17:00

会場：自由の広場

内容：竹で作った植木鉢に土を入れ、好きな種を一粒まいて、それを持ち帰り自分で育てていただきます。一粒の種の芽生えを通して生命の尊さやたくましさを実感していただきます。

◆土への感謝祭

日時：7月23日(土) 17:00～18:00

会場：大地の広場

内容：スリランカやタイで土をよみがえらせる活動を行っている現場スタッフの体験談や、インドネシア、バングラデシュなどアジア各国から農業を学びに来ている研修生や、ボランティア合唱団など総勢約100名による大地をたたえる国歌の斉唱等を披露します。


◆スリン@アジア ラブグリーンデイ

日時：7月27日(水) ①11:00～12:00、②17:00～19:00

会場：大地の広場

内容：オイスカが約20年にわたって植林を続けているタイのスリン県では、オイスカが初めて植林を行った7月28日を「オイスカ・ラブグリーンデイ」に制定しています。これに因んで、①では、植林活動や環境保全活動を実践する活動員とその指導者たちが集い、国連をはじめとする国際機関に向け、地球の未来を見据えたメッセージをアピールします。②では、オイスカ・タイ総局の演出による大自然への感謝を表す歌や踊りなどが満載のイベントを行います。

■環境千年・巨木物語館

ホスト団体名	特定非営利法人 地球緑化センター				
海外パートナー	エジンホロキ林業技術サービスセンター（伊金霍洛旗林業技術服務中心／中国）				
パビリオン内容	<p>【巨木から学ぶ自然との共生】</p> <p>巨木を緑の象徴と位置づけ、日本の緑・世界の緑を考える中から、未来に向け「グリーンライフ社会」を新しいメッセージとして発信します。映像・クラフトなど、楽しく学べる多彩なプログラムを用意。おすすめは、巨木・ストップおんだん化・妖怪の三つです。</p>				
					
	パビリオン看板イラスト				
団体概要	「緑のボランティア」を育て、中国、日本で緑化活動を展開しています。				
取材問合せ先	090-4181-9657	担当者	尾澤彰	URL	http://www.kk.ij4u.or.jp/~gec/

<主なイベント>

◆温暖化防止への森林の役割

日時：7月1日（金）10:10～10:50

会場：ワークショップホール（体験学習は11時からパビリオンにて）

内容：森林総合研究所の Dr.松本とともに、温暖化防止への森林の役割について学びます。樹高測定と炭素固定量の推計を、体験学習で学びます。

◆森の響きのコンサート

日時：7月15日（金）、23日（土）19:00～20:30／16日（土）、22日（金）18:00～19:30

会場：大地の広場

内容：長谷川純（ヴォーカル）と中村力哉（ピアノ）によるジャパニーズエスニックユニット「mcasi mcasi」、佐藤英史（尺八）、美鵬成る駒（和太鼓・鳴り物）、橋本歩（チェロ）をゲストに迎え、ジャンルを超えて木の楽器にこだわったコンサートを行います。竹で作った簡単な楽器を用いて来場者が演奏に参加するコーナーもあります。

◆砂漠緑化セミナー

日時：7月17日（日）①11:00～12:00、②15:00～16:00

会場：交流ホール

内容：現地で砂漠の緑化に取り組む中国科学院の邱華盛氏とトヨタ自動車バイオ・緑化事業部の國友淳子氏を招き、中国における砂漠化問題と緑化の進展について講演を行います。

◆環境維新・妖怪まつり「妖怪呼び寄せ式」「妖怪感謝祭」

日時：妖怪呼び寄せ式：7月18日（月・祝）11:00～12:00

妖怪感謝祭：7月24日（日）11:30～12:30

会場：いずれも大地の広場

内容：人と自然の共存を象徴する妖怪を「妖怪呼び寄せ式」で地球市民村に呼び寄せ、「妖怪感謝祭」で長野県赤沢太樹の森へと送り出します。日本青年会議所との共催で、両日とも来場者の自由参加を歓迎します。

■森のいろいろ館

ホスト団体名	社団法人 国土緑化推進機構				
国内パートナー	特定非営利活動法人 森づくりフォーラム				
海外パートナー	英国環境保全ボランティアトラスト（British Trust for Conservation Volunteers／英国）				
パビリオン内容	【森林を豊かにするために私たちができること】豊かな未来の森を育む賢い木の利用と暮らしを守る森づくりの大切さを楽しみながら学べるパビリオンです。9 つに区切った擬似森林で行う「フィールド・ビンゴ」やドングリで作ったカブトムシを戦わせる“トントン相撲”、木の実を使ったボウリングなど来場者参加型の体験プログラムを展開します。加えて、会場周辺で開催しているワーキングホリデーや、来場者の地元の全国各地で活動している里山保全ボランティアに取り組む団体の情報を閲覧できるコーナーも設置します。				
団体概要	緑の募金や全国植樹祭など、国民参加の森づくりを進めています。				
取材問合せ先	090-2164-8627	担当者	木俣知大	URL	http://www.green.or.jp/

<主なイベント>

◆500人で創る「メモリアルつみきハウス」

日時：7月1日（金）～31日（日）9:00～17:30 受け付け分まで

会場：自由の広場

内容：間伐材を利用したブロックを、つみきのように積んでくと、参加者が500人となったところで、東屋が完成します。ブロックには、参加者が水色、オレンジ、緑の3色から好きな色を選び、自分の名前と絵を自由に描くことができ、積み木の家の一部に自分の名を残すことができます。
※完成次第終了

◆絵の展示

日時：7月1日（金）～31日（日）11:00～21:00 ※他団体使用時を除く

会場：ワークショップホール

内容：国土緑化推進機構が主催・後援している絵画コンクールに入選した絵画を展示します。「ぼくたちが木を植えるのは…」「いろいろな動物や、木と草と、仲良くなりたい」「おいしい水や空気のあるところで暮らしたい」「そして、思いっきり遊びたい」「だからぼくたちは森を育てる」「そんなぼくたちの想いや願いをかなえるためなんだ」という6つのテーマに関する34点を展示します。

◆森の音楽祭「わくわくクラフト大会」

日時：7月23日（土）13:00～13:30

会場：大地の広場

内容：竹や間伐材で作った打楽器やリコーダーなどの楽器を用いてスタッフと来場者が演奏会を行います。来場者は自分で作ったカスタンネットや竹笛で演奏に参加します。曲目は「聖者の行進」や「大きな古時計」など、誰もが知っている曲を予定しています。



ワーキングホリデー風景

■アジアおはなしの家

ホスト団体名	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 (SVA)				
海外パートナー	SVA カンボジア事務所 (カンボジア)、SVA ミャンマー難民支援事業事務所 (タイ)、SVA アフガニスタン事務所 (アフガニスタン)				
パビリオン内容	<p>【小さな絵本の大きなチカラ】</p> <p>アジアの絵本や文化のすばらしさ、図書館活動の重要性を伝えます。パビリオン内にミャンマー難民キャンプの図書館活動で建設している竹の図書館を一部再現し、ラオスの山岳少数民族・モン族による刺繍で作られた絵本とタペストリーの展示、絵本が不足しているカンボジアやラオスの小学校に絵本を送るために、日本の絵本に現地語の翻訳シールを貼るボランティア活動の体験、アジアの民族衣装の試着などのプログラムを展開します。また、期間中毎日1日4回、カンボジア、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンのストーリーテラーが、現地語（クメール語、カレン語、パシュトゥ語）で絵本の読み聞かせを行う「アジアのおはなし会」（通訳あり）も実施します。</p>				
団体概要	アジアの子どもに学校をつくり、絵本を届ける運動を展開しています。				
取材問合せ先	090-7830-5458	担当者	伊藤解子	URL	http://www.jca.apc.org/sva/



竹の図書館

<主なイベント>

◆スマトラ沖津波救援事業報告会

日時：7月8日（金）①12:15～12:45、②17:30～18:00

会場：ワークショップホール

内容：シャンティ国際ボランティア会が、南タイで実施している図書館活動を通じた子どもの心のケアのための事業についての報告会を行います。

◆おはなしきゃらばん人形劇「まめじかカンチルの大冒険～インドネシアのお話」

日時：7月8日（金）～10日（日）11:00～12:00

会場：大地の広場

内容：インドネシアのジャワ島、スマトラ島などを中心に、豆鹿「カンチル」（ウサギほどの大きさで鹿や牛と同じ偶蹄目）のお話が様々な形で数多く伝えられています。森に住む小さくて弱い「カンチル」が知恵を使って欲張りな巨人をこらしめるというストーリーを通じて森の恵みと共存の大切さを訴え、観客と一体となった参加型の人形劇をお届けします。

◆カンボジアほほえみコンサート

日時：7月20日（水）①11:00～12:00、②17:00～18:00

会場：大地の広場

内容：コンサート前半は「だいちゃんカンボジアに行く」というタイトルの腹話術を行います。後半は、さまざまな施設や保育園を訪問し、アットホームなコンサートを目指して活動する「とりのはねスーパーバンド」が、「平和」「子供の教育」へのメッセージを歌詞にしたカンボジアの子どもたちへの歌を披露します。

■みんなでなくそう・対人地雷館

ホスト団体名	地雷廃絶日本キャンペーン (JCBL)				
海外パートナー	地雷廃絶カンボジアキャンペーン (CCBL/カンボジア)、地雷廃絶ネパールキャンペーン (NCBL/ネパール)、韓国対人地雷対策会議 (KCBL/韓国)、地雷廃絶スリランカキャンペーン (SR-CBL)				
パビリオン内容	【1人ひとりの協力で地雷のない世界へ】地雷に関する説明、地雷廃絶のためにかかわった人たちの活動の紹介、地雷除去のための金属探知機の紹介や防御服の試着、対人および対戦車地雷の模型展示など、地雷の恐ろしさと人々の力を伝える展示や体験を通して、地雷廃絶を目指して立ち上がった市民のオタワ条約締結までのストーリーを展開します。また期間中、地雷禁止国際キャンペーン (ICBL) のメンバーや地雷による被害者の話を聞き、地雷廃絶に限られた人のみではなく、誰でも協力できる活動であることを伝えます。加えて、オタワ条約に加入していない国に参加を呼びかけるために、来場者にチョウチョの形をしたカードを配布し、メッセージを書いていただく「ちょうちょキャンペーン」も実施します。				
団体概要	世界中から地雷被害をなくすため、対人地雷の全面禁止を訴えます。				
取材問合せ先	090-6184-8546	担当者	前川昌代	URL	http://www.jca.apc.org/banmines/

<主なイベント>

◆写真展「地雷原とガレキの中に住む人びと」

日時：7月1日（金）～13日（水）10:00～19:00 ※初日は11:00～19:00
 ※初日は11:00～19:00、最終日は10:00～18:00

会場：交流ホール

内容：アフガニスタン、イラク、カンボジア、韓国で、地雷やクラスター爆弾の脅威にさらされて生きる人々の現状を捉えた写真展を開催します。国内外で活躍する豊田直巳氏や遠藤正雄氏など気鋭写真家が、平和への願いを込めて撮影した45点を展示すると同時に、「ノーモア地雷」作者の柴田知佐さんの蝶を描いた絵画4点も展示します。



写真展「地雷原とガレキの中に住む人びと」より
 「なぜ私なの？」樫田秀樹撮影

◆スリランカ&ゴスペルイベント

「スリランカから訴える地雷廃絶—地雷なき世界のために、いま私たちができること」

日時：7月17日（日）14:30～16:00

会場：大地の広場

内容：JCBL 運営委員の目加田説子氏と地雷廃絶スリランカキャンペーンのフレディ・アルウィス氏によるトークショーと、地元で人気の「名古屋ゴスペルシンガーズ」によるドラム、ピアノなど総勢40名によるコンサートが繰り広げられます。

◆ネパールの地雷教室

日時：7月25日（月）15:00～16:00

会場：交流ホール

内容：ネパールでは政府と反政府勢力の対立が激しくなり、地雷の被害者が増えています。こういったネパールの現状と、現地で地雷の被害に遭わないために開かれる「地雷教室」を再現します。

◆ネパール&ゴスペルイベント

「知られざる地雷被害国ネパール—地雷なき世界のために、いま私たちができること」

日時：7月25日（月）19:00～20:30

会場：大地の広場

内容：KLCC 代表の最相博子氏と地雷廃絶ネパールキャンペーンのプルナ・チルトラカル氏による知られざる地雷被害国ネパールの現状を伝えるトークと、地元で人気の「名古屋ゴスペルシンガーズ」によるドラム、ピアノなど総勢40名によるコンサートが繰り広げられます。

地球市民村およびパートナーシップ企業・団体主催の主なイベント

◆地球の夢 トーク&ライブ「ピース・ナウ～今こそ平和を！～」

日時：7月2日（土）①13:00～15:00、②17:00～18:45／会場：大地の広場

内容：地球市民村の月別テーマに合わせて、毎月「地球の夢 トーク&ライブ」を開催しています。7月は「ピース・ナウ～今こそ平和を！～」をテーマに、日本国際ボランティアセンター事務局長の清水俊弘氏、漫画「ノーモア地雷」作者の柴田知佐氏、音楽ネットワーク「環音」代表の広田奈津子氏を招いてのトークショーと「環音」による東ティモール民謡等のライブを行います。

◆麦まつり～麦の刈り取りワークショップ～

日時：7月3日（日）10:30～、12:30～、14:30～／会場：オーガニック・ガーデン、自由の広場

内容：地球市民村内の農園「パーマカルチャー・ガーデン」で育った麦の“刈り取り”“脱穀”“もみすり”“製粉”を体験いただく来場者参加型ワークショップです。※定員：各回先着 15名

◆麦まつり～収穫祭～

日時：7月3日（日）①16:00～17:30、②18:30～20:00／会場：大地の広場

内容：麦の収穫と地球市民村7月参加団体の出展を祝し、愛知県額田郡の方々を中心とした日近太鼓や踊りで彩る収穫祭を開催します。

◆七夕まつり～星に願いを～

日時：7月7日（日）10:00～21:00／会場：大地の広場 ※短冊受付は7月5日(月)～7日(木)10:00～20:00

内容：“2025年の日本を想う「言の葉さらさらプロジェクト」と連動して、来場者に自分だけの願いに加え、周りの人や社会・地球に対しての願いを短冊にしたため、歌や踊りを交えながら、短冊に込めた願いを共有します。

◆世界お茶まつり

日時：7月16日(土)～18日(月・祝)10:00～16:00 ※18日は左記の他に18:00～20:00も／会場：アジア茶堂

内容：二番茶手摘みを体験いただくほか、烏龍茶、紅茶、抹茶、煎茶等の呈茶サービスや摘みたて二番茶でのオリジナルティーづくりを行います。また、外国館と連携して世界のお茶の紹介や試飲いただける催しを予定しています。最終日の18日18:00～20:00は、音楽を聴きながらゆっくりとした時間を過ごすイブニング・パーティを実施します。

◆村まつり<第2弾>

日時：7月17日（日）18:00～21:00／会場：大地の広場

内容：愛・地球博公式FM局「FM LOVEARTH」と地球市民村のコラボレーション“DJナイト”の第2弾。ライブペインティングなど、さまざまなパフォーマンスを披露します。

◆フルムーンコンサート「しおのみち」

日時：7月21日（木）17:30～19:00／会場：大地の広場

内容：満月の宵には、毎月ゲストを招いてコンサートを行います。7月は、真南風（マーパイ／真砂秀朗＋石垣金星＋遠藤晶美）を迎えて民族楽器の調べをお楽しみいただきます。

◆れあろファミリースクール「ピース教室」（連合・労福協万博センター「れ・あ・ろ」）

日時：7月21日（木）～26日（火）13:00～17:00／会場：ワークショップホール

内容：毎月、地球市民村の月別テーマに沿った参加体験型ワークショップを開催しています。7月は「ピース・ナウ～今こそ平和を！～」のテーマに基づいた「ピース教室」で、「連鶴」を折る教室や、折り紙名人の作品展示を行います。

◆地震・津波と稲むらの火 ～キッズフェスティバル～

（主催：地震・津波防災と稲むらの火地球市民村実行委員会 協賛：損保ジャパン）

日時：6月23日（土）10:00～20:30、24日（火）10:00～17:30／会場：交流ホール

内容：23日 オープニング／紙芝居と稲むらの火洋舞・にほんの詩情（琴演奏）・ナマズ大明神と紙芝居（紙芝居）・稲むらの火 ミニコンサート・あかずきんとなまず博士（人形劇）・モコちゃん（人形劇）・関島秀樹の稲むらの火ライブアンドトーク・影絵劇 稲むらの火

24日 オープニング／紙芝居と稲むらの火洋舞・にほんの詩情（琴演奏）・ペプサート「たのきゅう」・「おにのめん」（紙芝居）・コン太の稲むらの火（人形劇）・人形劇「楽しいピクニック」・演劇「稲むらの火ー儀兵衛と広村の人びとー」・稲葉涼くんの稲むらの火ミニコンサート・コン太の稲むらの火（人形劇）